



学校教育目標

校報

緑が丘

生き生きとしたみどりの子

盛岡市立緑が丘小学校

令和6年10月3日(木)

第29号(文責 和美智教)

ホームページの「みどりの子ダイアリー」で、子供の様子をご覧ください。



子供がつくる運動会練習始まる

今週に入り、運動会に向けての練習が本格化しています。

運動会練習の様子を見ると、昨年度まで以上に、子供自ら動いている姿を見ることができます。例えば、こんな姿が見られます。

「表現の曲を何にするか」「曲に合わせてどんな動きをするか」などを、子供が決めています。

「どうすると勝つことができるか」「思いを伝えるためにどのように表現するか」考えて動いています。

速く走るために、自分で進んで校庭を走っています。

発達段階や学年に応じて、子供がつくる部分を決めて取り組んでいます。

詳しくは、学年通信でお知らせします。

10月から学年内教科担任制実施

10月になり、令和6年度の後期に入りました。

そこで、緑が丘小学校では、3年生から6年生において、学年内教科担任制を実施したいと考えております。

文部科学省では、現在3年生以上の学年において、教科担任制の導入を進めているところです。

そのねらいは、授業の質の向上を図ることと、担任の負担を軽減することにあります。

岩手県においては、教科担任制の加配教員が不足しているという現状がありますが、緑が丘小学校では、学年内での交換授業という形で、部分的に教科担任制を進めていきます。

これから教科進度と時間割を調整し、徐々に教科担任制をスタートし、運動会終了後に本格実施する予定です。

詳しくは、学年通信でお知らせします。

教科担任制の目的

① 授業の質の向上による子供の資質能力の高まり

担当教科の授業を複数クラスで受けもつことで、深い教材研究が行われ、授業の質が向上することが期待されます。質が高い楽しい授業により、子供が「できる」「わかる」を実感することができると考えます。

② 小学校と中学校の円滑な接続

教科ごとに様々な教員が指導するという授業に慣れることで、6年生が中学校での学習や生活に順応しやすくなると考えます。

③ 多面的な子供理解

多くの教員が関わることで、一人一人の子供の得意なこと、苦手なこと、困っていること、不安なこと、特徴などを理解することができます。そのことが、個性を伸ばすことにつながります。また、子供にとっては、相談できる先生が増えるとともに、たくさんの先生がから認められる機会が増え、心の安定につながります。

④ 教員の負担軽減

教科担任制により、持ち教科が減ることで、深い教材研究ができるとともに、心と時間の余裕が生まれます。そのことで、今まで以上に、子供一人一人に寄り添いながら関わることができると考えます。

教科担任制導入にあたっては、6年生の子供に「教科担任制についてどう思うか」「心配なことはないか」アンケートを取りました。

子供の思いを大事にしながら、教科担任制を進めていきたいと考えております。

保護者の皆様のご理解のほどよろしくお願い致します。